

# めぐりっと紫波

発行者 NPO法人紫波みらい研究所  
TEL 019-671-2244 FAX 019-671-2243  
E-mail miraikenshiwa-mirai.com

## ペットボトルのキャップがプランターになって帰ってきた！

紫波町では循環型まちづくりの一環として、昨年の7月から、ペットボトルキャップの回収を始めました。町内小中高校や役場、スーパーなどに設置した回収箱には、これまでに850Kg(約34万5,500個)集まりました。回収したキャップを町内の知的障害者通所授産施設やき学園で分別・洗浄。リサイクル業者がプランターにしました。キャップ700個で、容量約40のプランター1個ができるそうです。そのプランターを使ったイベントを開催しましたので、紹介します。

### エコスクール 緑のカーテンを作ろう！

日時：平成22年4月22日(木)

午後3時30分～

場所：紫波町環境・循環PRセンター

内容：PRセンターの西側の窓に、アサガオやゴーヤなどのように、ツルが伸びてネットに巻き付いて伸びる種類の植物を種から育て、自然のカーテンを作るプロジェクトを開催しました。

参加してくれたのは、毎月PRセンターのエコスクールに来る紫波中央駅前の子どもたちです。

効果：省エネ効果！ 地球温暖化に貢献！

花を見る楽しみ！ 作物を収穫する！

講師：紫波みらい研究所会員

主催：紫波みらい研究所



ふかふかの畑の土にほかし堆肥を混ぜました。土の感触って温かい！



星山小学校にペットボトルキャップをリサイクルしたプランターが配布されました。町内の小中高校にも20個ずつ配布され、環境学習に使用されます。

## 循環型まちづくりや地域の取り組み 岩手大学で講義！町民も聴講できます！

岩手大学教育学部「社会教育課題研究」(15講義)に、紫波町長並びに町内で活躍している団体を紫波みらい研究所が非常勤講師として派遣する事業が5月14日(金)から始まりました。この事業は平成17年度から行っており、循環型まちづくりなどの施策や地域のさまざまな課題、その解決に向けた取り組みなどを学生に話すことにより、地域の認識を深め、現場的な感覚を身につけてほしいという目的で開講されています。7月30日までの毎週金曜日14時45分から16時15分までの講義です。今年から紫波町民はどなたでも聴講できるようになりました。

非常勤講師の皆さんは、次ページに紹介しています。



## 非常勤講師一覧

- 6月4日(金)NPO法人風・波デザイン  
6月11日(金)環境マイスター紫波  
6月18日(金)産直めぐり・農産物普及協議会  
6月25日(金)紫波町環境衛生組合連合会  
ごみポイ捨て監視員  
7月2日(金)紫波町産業部農林課  
7月9日(金)紫波町ごみ減量女性会議  
7月16日(金)どっこ舎  
7月23日(金)紫波町観光ボランティアしゃ・ペー  
7月30日(金)佐比内山ひだの会  
子育て支援ボランティアなかよし広場  
このほかに、紫波町に学生が来る一泊研修があります。  
7月3日(土)NPO法人えんどり・ぬくもり  
何でも屋おせっかい  
7月4日(日)紫波町立星山小学校  
聴講ご希望の方は、みらい研究所までご連絡ください。  
連絡先 671-2244

## 環境グッズのご紹介！



各 190 円



500 円(5 枚)



780 円

270 円

紫波みらい研究所では、ごみ袋の15サイズ、ペットボトルのキャップが簡単に取れる分別ハサミ、生ごみの水切りネットなどを販売しています。

## ～私のひとこと～ - その2 - 菊池 史子さん(日詰在住)

初めて紫波町を訪れたのは、4年前の雪深い2月でした。雪道に慣れない大槌に住む私たちが、休憩がたら水分の高台で街並みを一望した時のことです。銀世界に染まった田園風景は私たち夫婦の心を一瞬で掴みました。「ここで、子育てができたらどんなに素晴らしいだろう」沿岸の狭い土地で暮らす私たちの無い物ねだりなののでしょうか？広々としたこの素晴らしい景色に心を打たれ、なんと翌月の3月には、家族3人、紫波町民になって居ました(笑)私たち夫婦が心打たれた場所は、大きな果樹園でした。そして、今私たちは、まさにその果樹園で、毎日汗を流し、子育てをしながら働いています。

今回は、鎌田まき子さんにバトンタッチ



## イベント情報！

### 「土器から見た樋爪館と平泉」

5月30日(日)14時から 赤石公民館  
参加費500円 講師：桜井芳彦氏

### 出羽秋田ツアー

～清原氏の拠点と「樋爪氏独自工房かわらけ」を追う～

6月6日(日)8時30分発 先着30人  
参加費4,500円(予定)問合せ 671-2245

### 第8回かとうじ山の音楽会

6月13日(日)13時30分開演 入場無料  
紫波ビューガーデン  
問合せ 673-7882

### うたごえ倶楽部 トンテンカン

6月20日(日)14時～16時 権三ほーる  
参加費300円(茶菓有り)問合せ 676-5796

### 当国三十三カ所観音めぐり

6月20日(日)8時30分集合 先着35人  
参加費4,500円(バス・昼食・保険・入浴料含む)  
問合せ 671-2245

## 行雲流水(12) 桐の花 -

(三)  
この4月24日、ちょうど桜の時に賢治の歌碑が日詰駅前建立された。「さくらばな 日詰の駅のさくらばな かげに高鳴り ころみだれぬ」せつかく地名の入った歌ですから、この歌を町外の人々にもせつせと紹介しましょう、と提案したい。さて、例年に比べて随分と遅い開花だったが、今年も盃を、あるいはグラスを傾けつつ花に酔いしれた方は多かったと思う。古来より我が国では、「はな」といえば「桜」を指すほどで、日本人に桜は欠かせない。その桜が終わってから花をつけるのが桐。以前住んでいた首都圏のある街で、散歩していた時、偶然草の生い茂った古い庭で二本の大きな桐の木に出会った。音もなく散る花のそのさまに、遠く離れた生家の桐の木を想い出し、思わず涙ぐみそうになったのを二十年近く経た今でも想い出す。その桐の花に会うために、以来花の時期にはその道がお決まりの散歩コースになった。昔、故郷では大抵の家に桐の木があった。娘が生まれると、嫁入りのタンスを作るために植えたとか。桜は華やかに美しく万人の目を引く。が、静かながら凛とした桐の花は、まさにみちのく女性の佇まい。岩手の県花桐の花は、紫波ではどちらでお目にかかれるだろうか。